

(2) 冬型感染症のシーズン別報告状況(表11、図4参照)

令和4年シーズン(令和4年6月下旬～令和5年6月下旬)の特徴。

インフルエンザは、令和2年、令和3年シーズンと比較すると患者報告数は増加したが、通常シーズンと比較して大幅に少ない報告数であり、流行は見られなかった。

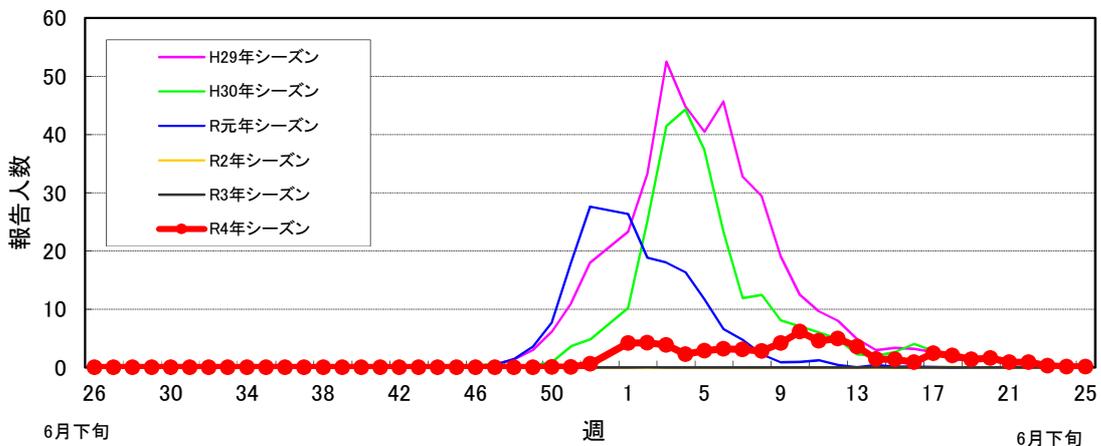
感染性胃腸炎は、一年を通して患者報告数はあったが、大きな流行は見られなかった。

表11 冬型感染症シーズン別報告状況

インフルエンザ(単位:人)					感染性胃腸炎(単位:人)				
	東部	中部	西部	県計		東部	中部	西部	県計
平成29年シーズン	4,085	3,500	4,508	12,093	平成29年シーズン	2,725	1,677	1,771	6,173
平成30年シーズン	2,523	2,038	3,106	7,667	平成30年シーズン	2,482	1,769	1,974	6,225
令和元年シーズン	1,929	1,356	1,640	4,925	令和元年シーズン	1,734	1,122	1,261	4,117
令和2年シーズン	0	0	5	5	令和2年シーズン	1,087	622	1,218	2,927
令和3年シーズン	0	0	3	3	令和3年シーズン	1,727	1,120	1,310	4,157
令和4年シーズン	817	314	731	1,862	令和4年シーズン	2,258	1,319	1,335	4,912
6年シーズン平均	1,559	1,201	1,666	4,426	6年シーズン平均	2,002	1,272	1,478	4,752

※当年6月下旬～翌年6月下旬

インフルエンザ(県平均:定点当たり)



感染性胃腸炎(県平均:定点当たり)

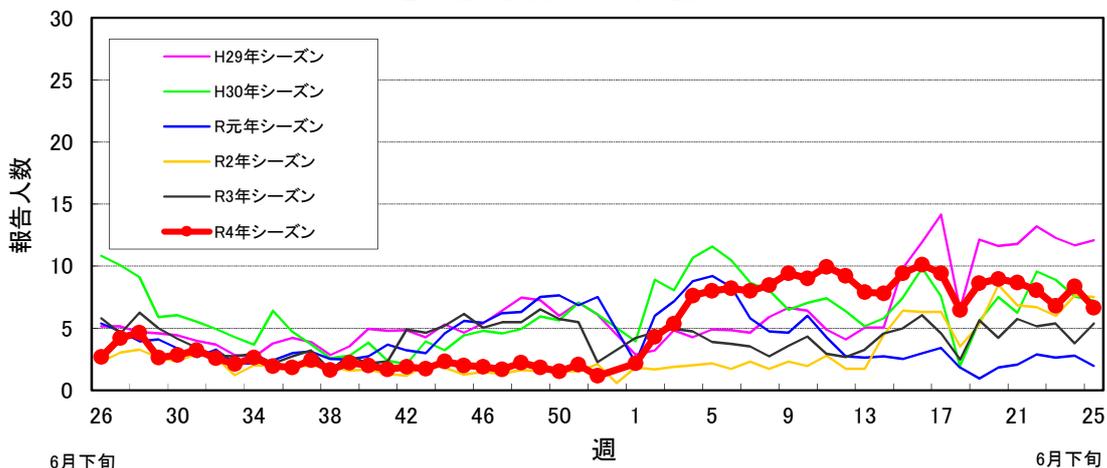


図4 冬型感染症シーズン別報告状況